

問1 明治政府が近代産業の育成を目的に、群馬県に設立した官営の製糸工場を何という？

1. 富岡製糸場 2. 官営八幡製鉄所 3. 鹿鳴館 4. 工部大学校

問2 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度である「学制」を公布した年はいつ？

1. 1871 2. 1873 3. 1885 4. 1872

問3 中国において、民族の独立と近代国家の建設を説いた「三民主義」を唱えた指導者は誰？

1. 袁世凱 2. 孫文 3. 蒋介石 4. 毛沢東

問4 18世紀後半から欧州で始まり、生産力の飛躍的な増大と資本主義の発展をもたらした変革を何という？

1. 明治維新 2. 宗教改革 3. 産業革命 4. フランス革命

問5 紡績業の発展により、輸入した原料を加工して製品として輸出する貿易形態を確立するために必要となった、輸入原料を何という？

1. 鉄鉱石 2. 綿花 3. 羊毛 4. 生糸

問6 欧米列強に対抗して国力を高めるため、明治政府が掲げたスローガンを何という？

1. 殖産興業 2. 教育勅語 3. 文明開化 4. 富国強兵

問7 中江兆民の思想が理論的な支柱となった、国民の権利を主張する運動を何という？

1. 自由民権運動 2. 国会開設運動 3. 秩父事件 4. 大隈重信追放

問8 1894年、朝鮮で起こり、日本と清の間で日清戦争が勃発するきっかけとなった農民運動を何という？

1. 壬午軍乱 2. 五・四運動 3. 甲午農民戦争 4. 三・一独立運動

問9 1885年の内閣制度発足に伴い、初代内閣総理大臣に任命された人物は誰？

1. 松方正義 2. 伊藤博文 3. 山縣有朋 4. 黒田清隆

問10 自由民権運動の中で、国民の意見を政治に反映させるために開設が求められた機関を何という？

1. 国会 2. 地方議会 3. 内閣 4. 裁判所

問11 近代的な議会政治において、国民の声や意思を国政に伝えるために選挙で選ばれた人を何という？

1. 公選 2. 選任 3. 任命 4. 代表

問12 明治時代の産業革命期に、日本で発展を遂げ、綿糸の輸出入の逆転に大きく貢献した分野を何という？

1. 重工業 2. 化学工業 3. 軽工業 4. 機械工業

問13 日露戦争の講和条約であり、賠償金が得られなかったことに国民が不満を抱いた条約を何という？

1. 下関条約 2. ポーツマス条約 3. 日米修好通商条約 4. 南京条約

問14 1874年に板垣退助らが明治政府へ提出した、議会の開設を求めた文書を何という？

1. 大日本帝国憲法 2. 五箇条の御誓文 3. 自由の学問 4. 民撰議院設立の建白書

問15 明治時代、八幡製鉄所の建設や日本の重工業発展の基盤となった、戦争の勝利によって得た資金を何という？

1. 賠償金 2. 特別会計 3. 関税収入 4. 租税収入

答え合わせ・解説

問1	答え 1 富岡製糸場	1872年に群馬県に設立された富岡製糸場は、フランスの技術を取り入れた官営模範工場です。ここでの技術は全国に広まり、日本の主力輸出品であった生糸の品質向上に大きく貢献しました。
問2	答え 4 1872	1872年に公布された「学制」は、フランスの制度を参考にしつつ、全国に小学校を建設して国民全員に教育を受けさせることを目指すものでした。
問3	答え 2 孫文	孫文は「民族・民権・民生」という三民主義を提唱しました。これは外圧を排除し、国民が主権をもつ国家を作り、国民の生活を安定させるという内容です。この思想は、当時の中国の学生や海外の華僑に広く支持されました。
問4	答え 3 産業革命	産業革命は、機械の発明と工場の普及によって、生産力が飛躍的に向上した出来事です。これにより大量生産が可能となり、資本主義経済が発展しました。しかし、その一方で資本家と労働者の間で経済的な格差が拡大し、過酷な長時間労働や貧困などの社会問題が深刻化しました。これが社会主義という新たな思想が生まれる土壌となりました。
問5	答え 2 綿花	紡績業の発展により、インドや中国、アメリカなどから安価な綿花を大量に輸入し、国内の工場で綿糸へと加工しました。この加工貿易の形態が確立したことで、日本は繊維立国として国際競争力を強めることができました。
問6	答え 4 富国強兵	国内の産業を育成する「殖産興業」を車の両輪として、軍事面での強大化を図りました。特に徴兵制の導入と、近代的な兵器の開発、工業化による国家財政の安定が主な柱です。
問7	答え 1 自由民権運動	板垣退助らが中心となり、憲法の制定や国会の開設、地租軽減を求めて全国で展開されました。中江兆民はフランス流の民主思想を紹介することで、この運動に理論的な正当性を与える役割を果たしました。
問8	答え 3 甲午農民戦争	1894年に大規模な農民反乱が発生し、朝鮮政府は清に援軍を要請しました。これに対し日本も出兵し、日本軍と清軍が衝突したことで日清戦争へと発展しました。
問9	答え 2 伊藤博文	伊藤博文は、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後は憲法制定や内閣制度の導入に主導的な役割を果たしました。1885年、新しい内閣制度のトップである「初代内閣総理大臣」に就任し、日本の近代政治体制の枠組みを構築しました。
問10	答え 1 国会	自由民権運動において、板垣退助らは政治に民意を反映させるために、国民が選んだ議員による議会である「国会」の開設を強く求めました。国民には政治に参加する権利があるという考え方が社会に広まりました。
問11	答え 4 代表	議会政治では、国民が直接全員で政治を行うことが難しいため、選挙を通じて「代表」を選びます。その代表が国会に集まり、法律を作ったり予算を議論したりすることで、間接的に国民の意思を反映させる仕組みをとります。これを間接民主制といいます。
問12	答え 3 軽工業	大阪紡績会社に代表される紡績業など、衣服や日用品を扱う「軽工業」が産業革命をリードしました。これにより、日本は外国から綿糸を買う立場から売る立場へと大きく転換しました。
問13	答え 2 ポーツマス条約	アメリカのセオドア・ルーズベルト大統領の仲介により、ポーツマスで調印されました。これにより日本は韓国での指導権や、遼東半島の租借権、樺太の南半分などを獲得しましたが、国民が強く期待していた戦争賠償金の獲得はなりませんでした。
問14	答え 4 民撰議院設立の建白書	板垣退助や後藤象二郎らは、少数の官僚による政治を批判し、国民の代表による議会（民撰議院）を作るよう主張する建白書を政府に提出しました。
問15	答え 1 賠償金	1895年の日清戦争に勝利した日本は、清から多額の賠償金を得ました。政府はこの賠償金を八幡製鉄所の建設費や、軍備の増強に充て、重工業を発展させるための資本としました。